

平成 29 年 1 月 14 日

日豪ビジネス会合 安倍総理スピーチ

日豪両国は、共に先進国として、「経済の主役はビジネス」を基本としてきました。両国政府は、制度やインフラの整備に努め、特に、自由貿易の推進に関して地域や世界の「主導役」となってきました。かつて A P E C を創設し、最近では日豪 E P A を成立させ、T P P 交渉でも、交渉参加国のリード役でした。こうしたインフラをビジネスの皆さんが活用して、より多くの成果を上げていただきたいと思います。

ターンブル首相との間では、これに加え、先進国である両国がイノベーションを進めることで一致しました。今日は、資源、エネルギーといった従来からの分野はもとより、イノベーションの若手の担い役にも同行していただきました。再生医療、準天頂衛星、人工知能などの分野を、両国が世界をリードして発展させたいと思います。

両国の魅力を、多くの国民の方々に実感いただきたい。海外の観光など、交流の機会は増えています。しかし、増える余地はまだまだ大きい。今回は、地域交流や観光に関する方にも御参加いただきました。

幅広い観点から、ビジネスの発展のチャンスと可能性を深める。「特別な戦略的パートナーシップ」にある日豪関係が、更に充実したものとなることを期待し、私の御挨拶とさせていただきます。